



2/9  
火曜日

田中征夫さんと和久正明さん  
高齢者救助表彰

役場応接室で高齢者救助表彰式が行われ、田中征夫さん(西水沼)と和久正明さん(同)が見目町長から感謝状を受けました。田中さんと和久さんは、道で一人暮らしの高齢者が移動困難になっていたところを救助し、自宅まで送り届け、警察に連絡するなどして事故を未然に防止しました。見目町長は「大変ありがたい行動です。地域近所への関心がなくなってきている今、周囲への気配り、目配りが増えるきっかけとなってほしい」と話しました。



2/9  
火曜日

町自治会連合会で新型コロナウイルス  
感染症対策啓発の「のぼり旗」を作成

町自治会連合会が、新型コロナウイルス感染症対策啓発の「のぼり旗」50本を作成し、町内各地に設置しました。これは、新型コロナウイルス感染症対策として、住民も自発的に行動すべきとの同会の思いからの取り組みです。黒崎浩一会長は「住民自ら行動しなければならぬと考え、作成に至った。感染者が再拡大しないよう、町民全体で取り組んでいきたい」と話しました。



2/18  
木曜日

ご長寿万歳  
矢口キクさんが100歳

矢口キクさん(下延生)が100歳の誕生日を迎えました。矢口さんは大正10年生まれで、好き嫌いがなく毎日を過ごしているそうです。若い頃は、ゲートボールが趣味で、仲間と集まって、会話をしながらプレーをしていたそうです。

息子の勝美さんは「今まで通り笑って元気に過ごしてほしい」と話しました。



2/3  
水曜日

西水沼  
天満宮節分講社祭

西水沼の天満宮で、節分講社祭が行われました。天満宮の総代、西水沼地域の皆さんが参列し、初めに神事が執り行われました。その後「福は内、鬼は外」と参列者全員で豆をまきました。

最後に、今年で21回目となる節分講社祭に、これまでに20回参列した皆さんが表彰されました。



2/5  
金曜日

認定こども園のぶ幼稚園  
乳児組お楽しみ会

認定こども園のぶ幼稚園で、乳児組お楽しみ会が行われました。新型コロナウイルス感染対策のため、保護者が参加することはできませんでしたが、園児らは精一杯練習の成果を披露しました。0歳児は、先生に名前を呼ばれると元気よくお返事し、1歳児では、曲に合わせておゆうぎを披露し、2歳児は、「手を叩きましょう」の曲に乗せて、お友達と一緒に息の合ったスズの合奏を披露しました。



2/9  
火曜日

町調理ボランティア  
厚生労働大臣表彰

町調理ボランティアが厚生労働大臣表彰を受賞し、見目町長を表敬訪問しました。町調理ボランティアは、町内の一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯等70~80人に、週2回家庭的な手作りお弁当を作っています。

見目町長は「平成5年から長きにわたる活動は地域社会の支えとなっています。今後もぜひご尽力をいただきたい」と感謝の言葉を述べました。

124年ぶりに2月2日に節分の日を迎えたこの日、園児らが思い思いに手作りしたお面と豆入れを身に付け、一生懸命に豆を投げ、鬼たちを退散させました。また、節分や豆まきに関するお話を聞いたり、元気に歌を歌ったりして、節分の日を楽しみました。

2/2  
火曜日

町内こども園・保育園で豆まき



▲みずはし保育園



▲祖母井保育園



▲認定ひばりこども園



▲認定こども園のぶ幼稚園



1/23  
土曜日

稲毛田八雲神社境内に  
60本の竹明かり

稲毛田の八雲神社に60本の竹明かりが設置されました。竹明かりは、同神社太々神楽保存会の直井賢治さん(稲毛田)と同神社氏子の櫻井邦治さん(同)によるものです。また、活動に賛同した同保存会の鈴木勝美さん(同)により赤いのぼり旗10本が奉納されました。

近くに住む岡田由美子さん(同)は「昨年より増本されて彩りも増してきれいになりました。境内を優しい光が包み込んでいて幻想的です」と話しました。



2/2  
火曜日

2/3  
水曜日

祖母井神社節分祭  
町に小中学校新型コロナウイルス感染症対策10万円寄附



祖母井神社で、節分祭が行われました。今年は、新型コロナウイルス感染症の影響で、規模を縮小して行われました。岩崎県議会議員、小林町議会議長をはじめ、地域の総代や氏子などが参加しました。神事を執り行ったあと、声を挙げて豆をまき、疫病退散を祈願しました。

3日(水)には、柳田宮司をはじめ3人が町長室を訪れ、町内の小中学校に対し10万円を寄附しました。これは、昨今の新型コロナウイルス感染症の中で、未来を担う子どもたちに何かできればとの思いによるものです。